

2019年1月11日
株式会社 北海道銀行

クロステック

ICT（情報通信技術）を活用したビジネスコンテスト

X-Tech Innovation 2018 受賞者交流会開催のお知らせ

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）は、七十七銀行（頭取 小林 英文）、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（取締役社長 柴戸 隆成、以下：FFG）、沖縄銀行（頭取 山城 正保）の4行・グループで共同開催するICT（情報通信技術）を活用したサービス、アイデアを募集するビジネスコンテスト「X-Tech Innovation 2018（クロステック イノベーション 2018）」の各地区最終選考会において受賞した企業が集う受賞者交流会を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

本コンテストは、急速に発展する様々なテクノロジーに着目し、業界・業種を横断する新しいサービス、ビジネスアイデアをスタートアップ企業等から広く募集することで、優れたアイデアを発掘・表彰すると共に、これらのビジネスアイデアの事業化に向けたサポートや、地場企業とのマッチング、既存ビジネスへの活用可能性を模索し、地域経済の活性化を目指す取り組みです。

今回開催する受賞者交流会では、昨年12月に各地区で開催した最終選考会（ピッチバトル）において受賞した12社が一堂に会し、各サービスのプレゼンテーションを行うほか、本イベントを通じて、全国の企業をはじめとする参加者とのマッチング、ネットワーキングの場を提供いたします。本交流会にご関心のある方は、是非ご参加ください。

X-Tech Innovation 2018 受賞者交流会（マッチングイベント）の概要

日時	2019年1月16日（水） 15:00～18:00（14:30 開場）
場所	DIAGONAL RUN TOKYO （東京都中央区八重洲2丁目8番7号 福岡ビル 4階）
タイムスケジュール（予定）	14:00 メディア向け取材 ※事前取材をご希望の方は事務局担当迄 14:30 開場 15:00 開会、開会挨拶、ルール説明 15:10 受賞企業12社（予定）によるプレゼンテーション 16:50 受賞企業との懇親会（ネットワーキング） （17:05 本日のオーディエンス賞の発表） 18:00 閉会

 コンテストの詳細は、
特設サイトをご覧ください。

<https://www.ibank.co.jp/xtech2018/>



受賞者・登壇予定企業

九州地区 受賞企業

（2018年12月4日開催）



北海道地区 受賞企業

（2018年12月6日開催）



沖縄地区 受賞企業

（2018年12月13日開催）



東北地区 受賞企業

（2018年12月18日開催）



以上



【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行 営業推進部 鈴木・高宮 TEL 011-233-1163
広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005

当日来場者数 (速報値)

九州地区 2018年12月4日実施	213名
北海道地区 2018年12月6日実施	178名
沖縄地区 2018年12月13日実施	166名
東北地区 2018年12月18日実施	218名

各地区応募数

九州地区	44件
北海道地区	24件
沖縄地区	29件
東北地区	24件

ご賛同頂いた企業様

協賛企業	29社
ゲストパートナー	54社
サポーター	40団体

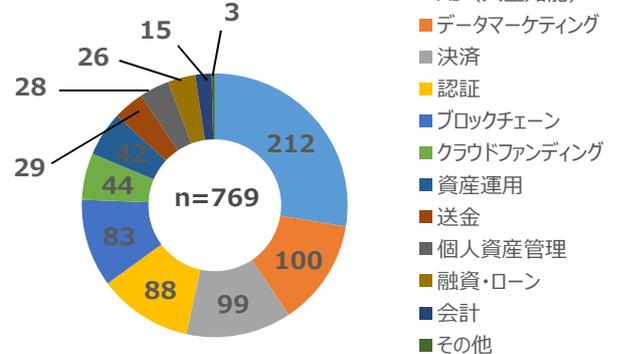
参加者の声 (参加者アンケートより)

Q : 本コンテストを通じて、ご興味・ご関心のある企業・アイデア・技術などの発見はありましたか？



参加者の8割超が、登壇企業・技術・アイデアに対し、関心あり。

Q : ICT分野 (主にFinTech) でご関心のあるテーマをお聞かせください <複数回答可>



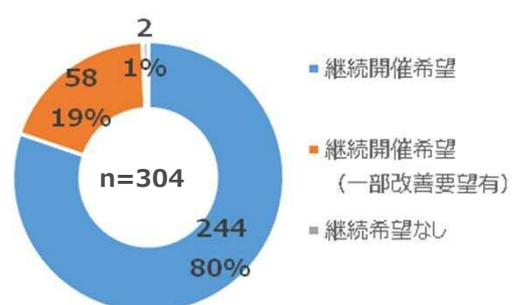
業界横断的に「AI (人工知能)」、「データマーケティング」領域への注目度が高い。

Q : 新しい技術・アイデアの発掘・育成において銀行に期待することは何ですか？ <複数回答可>



金融機関への期待としては、情報提供 (マッチング) に加え、共同事業化・出融資などのリスク供与も。

Q : 本ビジネスコンテストの継続開催についてお聞かせください



ほぼ全ての参加者が継続的なイベントの開催を希望。

Q : その他 : 自由コメント (感想)

- 活気あるピッチコンテストだったと思います。活気ある新規企業の創出を期待しています。(協賛企業)
- 全国、世界へ羽ばたくような企業が出ることを期待しています。そのような意味で、このコンテストが、継続開催されることは非常に素晴らしいことと思います。(協賛企業)
- 昨年より登壇者の実力が上がってきていると思います。継続いただくことで更なる有望なアイデアが発掘されると思いますので可能な限り続けて頂きたい。(ゲストパートナー)
- 一般観覧者が投票 (ピッチバトルシステム) できるのが良く、投票結果も見られることが良いと思った。(一般観覧者)